

[第3回] 日本中医学会 漢方応用講座
(日本中医学会とクラシエ薬品(株)共催)

発熱・悪寒を伴う蕁麻疹の症例

解説者：路京華先生

レポート：岸 奈治郎 (平成日高クリニック 和漢診療部)

日時：2012年12月8日開催

【症 例】 36歳女性

【主 訴】 発熱・悪寒を伴う蕁麻疹

【現病歴】 不眠症で毎晩飲酒していた。

12/10

16:00 ごろ中華弁当を食べ20分後から首が痒くなった。その後も飲みに行きブランデーや水をたくさん飲んだ。帰宅後入浴した後からすぐに全身が痒くなり、雲状の丘疹が多数出現したがその日はなんとか我慢した。

12/11 朝病院に行き、急性蕁麻疹と診断され注射と内服薬を投与された。

12/12 さらに症状が酷くなり、全身に発疹が現れ熱感を持ち、小便が朝1回しか出なかった。大便も出ずに頭がガンガンしているので、救急車を呼び病院受診した。

ザジテンを点滴したりして治療したが、当日20:00にまた悪化した。再度病院受診し注射をしたが、痒くて眠れなかった。

12/13 症状改善しないため受診した。

【現 症】 体全体が浮腫んでいる。

震えるほど寒けがし、それと同時に体が熱く発熱している。半袖の服を着ていても熱がった。(寒気<熱い)

汗はない。
呼吸が苦しい。
丘疹は紫赤色。
イライラ、口渇、あり。
小便は少しだけ出るが色が紅茶のようで、大便は出ない。

【診察所見】 舌：舌質・紅、舌辺・絳、舌苔・黄膩苔

脈：浮洪大

- 【解 説】
- ・不眠症で毎晩飲酒していた。——湿が蓄積しやすい生活をしてきた（赤字は岸先生のコメント）。
 - ・中華弁当を食べ 20 分後から首が痒くなった。その後も飲みに行きブランデーや水をたくさん飲んだ。——油っぽい食事で脾胃に湿を貯めこみやすい状況の上に、冷たい飲み物、水分を多く摂った結果、外邪の進入を助長した。
 - ・12/11 朝病院に行き、急性蕁麻疹と診断され注射と内服薬を投与された。
 - ・12/12 さらに症状が酷くなり、全身に発疹が現れ熱感を持ち、小便が朝 1 回しか出なかった。大便も出ずに頭がガンガンしているので、救急車を呼び病院受診した。
 - ・ザジテンを点滴したりして治療したが、当日 20:00 にまた悪化した。再度病院受診し注射をしたが、痒くて眠れなかった。——現代医療による治療にもよるが症状が出現—消退を繰り返しているのは、「風」による症状の特徴といえる。かゆみを訴え熱感を持っており「熱」もあるようだ。
 - ・体全体が浮腫んでいる。——日頃から湿を溜め込みやすいところにつめたい酒や水をたくさん飲んだことが影響していると考えられる。もしくは湿邪の侵入とも考えられる。
 - ・震えるほど寒けがし、それと同時に体が熱く発熱している。半袖の服を着ていても熱がった。（寒気<熱い）——「寒邪」に罹患して表で邪正相争が起こり発熱をしている。
 - ・汗はない。——表寒実
 - ・呼吸が苦しい。
 - ・丘疹は紫赤色。——陽明に邪が入った。

- ・イライラ、口渇あり。
- ・小便は少しかけ出るが色が紅茶のようで、大便は出ない。——熱があるため、小便は濃染し、(邪が陽明に入ったため) 便は秘結している。
- ・舌：舌質・紅、舌辺・絳、——舌が赤く「絳」(紅よりも濃い赤で、熟したイチゴのような深い色合いを呈する) 場合は、邪が(衛気・営血の) 営分に入っていると考えられる。
- ・舌苔・黄膩苔——湿熱が溜まっている。
- ・脈：浮洪大——浮＝表

【解説】 もともと湿を溜め込みやすい生活を送っていた。不摂生から風寒邪を患ったところ、内湿と結びついて陽明湿熱となった。陽明湿熱を外に排出したいが、未だ外邪が表にとどまり腠理を閉じ、汗、尿、便を出せず、より熱がこもって内風を生じた。表に外邪がとどまっているので寒気や頭痛なども伴っており、内熱があるため熱がっている。内風は営分に入ってきたために痒痒感を伴う蕁麻疹が出るようになってきた。舌が紅絳であるのは営分に入ってきている所見である。

治療は閉じてしまったところを開いて、清熱・熄風する方針でよい。邪気を掃う道を作ることが必要である。

【病性】 表寒熱挟雑実

【病勢】 邪実

【病位】 陽明病位 表衛

【病邪】 風寒湿邪 湿熱

【弁証】 風寒束表、内熱壅盛 二腑閉実、鬱発風疹

【治法】 外散風寒、内瀉壅熱 通利前後、透発風疹

【処方】 麻黄 4 防風 5 荊芥 5 連翹 6

黄芩 4 赤芍 4 滑石 10 石膏 15 先煎

薄荷 3 木通 4 蝉退 3 大黄 4 後煎

悪寒が強いため麻黄で邪を掃う必要もあるが、ここでは表を開く意味合いが強い。

石膏は陽明の熱を冷ます。太陽は表を主り、陽明は肌を主る。

牛黄解毒片

6錠×2

牛黄、黄連、金銀花、大黄、梔子、防風

(こちらのレシピのものもあるようです。牛黄、大黄、黄芩、冰片、甘草、石膏、桔梗、雄黄)

効能：清熱解毒、散風止痛。

<エキス剤で代用の場合は>

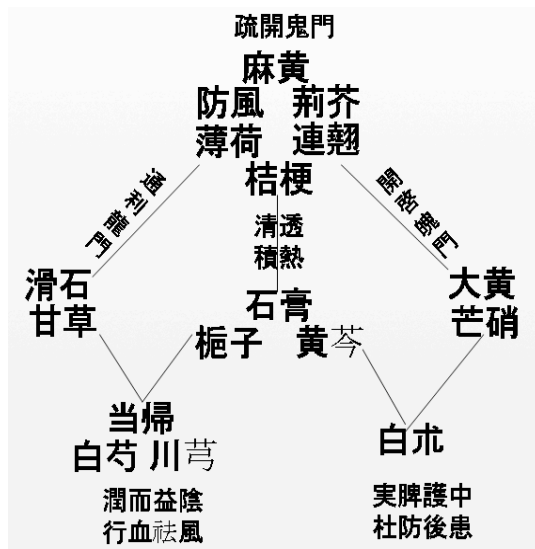
防風通聖散+銀翹散+大黄甘草湯

荊芥連翹湯+銀翹散+大黄甘草湯

防風通聖散

麻黄 暴風 荊芥 薄荷 連翹 桔梗
石膏 梔子 黄芩 当帰 白芍 川芎 白朮
滑石 甘草 大黄 芒硝

今回の病態は汗が出ない、尿が出ない、便も出ない。邪によって九竅が閉塞してしまっている状態である。防風通聖散は閉まっている門を開けて開竅し、熱を冷まして治療をする方剤であるから、今回の病態にはよく適している。



銀翹散

銀花 連翹 荊芥穗 淡豆豉 薄荷 苦桔梗 牛蒡子 竹葉 鮮芦根 生甘草

荊芥連翹湯

荊芥 白芷 防風
桔梗 枳殼 連翹
柴胡 山梔子 黃芩
當歸 川芎 芍藥 甘草

効能：祛風・清熱・清少陽熱・補血活血（血を治せば風自ずから治す）

【経過】 13～14日 上記の処方服用すると大分良くなり、夜眠れるようになった。

13日牛黄解毒片6錠2回、14日に1回服用すると夜下痢をした。

15日からは発疹が大分治った。しかし、現状では暖めると痒い。体には散在性紫赤色の斑疹がすこし見え、足の内側に多い。

大便が出て、小便は普通。

唇にはヘルペスが出て痛い。

舌辺稍紅、苔は薄白滑

| | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 蟬退 4 | 連翹 8 | 苦参 4 | 赤芍 4 |
| 黄柏 3 | 丹皮 4 | 薏苡仁 30 | 滑石 30 |
| 茵陳 6 | 山梔子 3 | 刺蒺藜 6 | 全蝎 3 |
| 竜胆瀉肝湯 | 7.5g | 分3 | |

を処方し改善した。